

安城ロータリークラブ

週報

【No.806 2018/4 第2例会】

例会日:毎週金曜日
 例会場:碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1
 TEL:0566-75-8866
 FAX:0566-74-5678
 Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp
 HP: http://www.anjo-rc.org

2018年4月20日(金) 12:30~13:30
 司会者:小野内 宣行君
 ソング:「手に手つないで」「四つのテスト」
 卓上花:ミニバラ・スカビオワ
 ニコボックス委員会:深津 正則君
 親睦活動委員会:芝野 光孝君

2017-2018年度RIテーマ:
「ロータリー:変化をもたらす」
 安城ロータリークラブ会長方針:
「地域、喜び、輝き」

- 会長: 福田 雅美
- 幹事: 成田 孝則
- クラブ会報: 石川徳重・鳥居博行
- 創立日: S33年1月10日
- RI加盟認証日: S33年2月6日

■ 会長挨拶

福田 雅美会長

『地域、喜び、輝き』

■ 幹事報告

成田 孝則幹事

1. 11月に行われました地区大会の記録誌を出席されました方に配布いたしました。
2. 新会員候補者案内を配布いたしました。ご意義のある場合は7日以内にお申し出ください。
3. 4月より米山奨学生 王 琪琦さんのお世話クラブとなり、安城ロータリークラブとカウンセラーをお引き受けいただきました内藤 教恵さんに委嘱状が届いております。
4. 4/27 臨時総会を行います。欠席予定の方は委任状をお願いします。また、例会後会議室にて次年度クラブアッセンブリーを開催します。
5. 5/9(水)18:00~すず岡にて、創立60周年記念事業の打ち上げ会を行います。
6. 5/11(金)18:30~鯛常分店にて、次年度合同例会を行います。
7. 6/13(水)11:30~鯛常分店にて記者懇談会を開催いたします。
8. 本年度事業報告発表の案内・年間総合報告書原稿(6/1×切)及び、次年度事業計画発表の案内・年間総合計画書原稿(5/11×切)の依頼を配布いたしましたので宜しくお願い致します。
9. 記念事業の記念誌作成にあたり、会員皆様に掲載用の写真・タイトルのご協力をお願いします。
10. 写真同好会より 第4回安城ロータリークラブ写真展を碧信本店(5/11~6/8)にて開催致します。5/8までに事務局までご持参ください。同好会に入っていない方も大歓迎です。

■ 今月のお祝い

会員誕生日 4名
 婦人誕生日 5名
 結婚記念日 6組



■ 出席報告

服部 敦君

会員	55名
出席義務者	42名
出席	31名
欠席	11名
出席免除者の出席	11名
出席率	79.20%
修正出席率	3月31日 第2950回例会 100%

	第1部	第2部
第1分科会	横山 真喜男	東 隆将
第2分科会	藤井 英樹	横山 真喜男
第3分科会	外山 勝美	石川 徳重
第4分科会	内藤 教恵	岩井 春次
第5分科会	大見 宏	大見 宏
第6分科会	杉山 淳一	杉山 淳一
第7分科会	海野 広明	辻 隆士

■ 第1分科会 第1部 横山 真喜男君

第1分科会は副会長、親睦、雑誌、クラブ会報、米山記念奨学、インターアクト、会員増強を除くメンバーの参加する一番多い分科会でありました。内容は第2750地区パストガバナー東京飛火野RCの水野 功様の講演会でした。ロータリーは例会出席100%、与えられた役にはNOと言うな。などと私横山が入会した時に安城ロータリーに少し残っていた先輩たちの教えがあった29年前の自己紹介から始まりロータリーの成り立ちなどの講話でありました。ロータリーは当初会員間の商売の商い額をデータとして取っていたということです。クラブ内で積極的に商売を勧め、その互惠主義が職業奉仕のはじまりと聞かされました。その後、社会奉仕を提唱するドナルド・カーターに入会を断られ、方針を「親睦と奉仕」に変化させてきた話など隣に居た寺田くんのイビキと一緒に面白く聞かさせていただきました。

■ 第1分科会 第2部 東 隆将君

第1分科会 第2部

第2部は、1部同様に村井ガバナーエレクトの開会挨拶に始まり、加藤次期研修リーダーによる講師紹介があり、1部の講師でもある第2750地区パストガバナー東京飛火野RCの水野功様の再登場による講話でした。次のような話が印象に残りました。※まずは、仲間を作ろう。

若い時に近くのクラブにメーキャップでお邪魔した時に80才前後の少し足の悪い方が「今日は僕が貴方の面倒を見ますよ」とおっしゃって足が悪いのに食事まで取りに行って、1時間みっちり世話を焼いて、最後に名詞交換しました。相手の方はクリーニング大手の「白洋社」の社長でした。それ以来「白洋社」でお世話になっていますとの事、先日は御息子にもお会いしお礼を言って頂き小さな出会いが大きなお付き合いになり、こう言った話は沢山あり、分区内の近くの、または少し離れたクラブの例会に出席してはどうでしょうか。



※アンケートでみるロータリーの魅力

ネットワークが広い ②友人、仲間を作る ③学習、成長の機会 ④ビジネス、異業種交流が出来る

その他、話はありましたが、当日鉄パイプの椅子に1部、2部で4時間も座って受講して尻が痛くて話を聴くどころでは無かったのが事実です。今日はピンチヒッターで打席に立ちましたが、実際には大坪さんに内容を教えて頂いて纏めました、大坪さん大変助かりました、有り難う～。

■ 第2分科会 第1部 藤井 英樹君

先般、4月15日地区研修・協議会に参加しました。

この協議会は、次年度の地区方針に沿ったクラブの管理・運営をするための研修会です。

1,700余名のロータリアンで会場は熱気に満ち溢れていました。

私は第2分科会 クラブ運営部門に出席しました。

会員の親睦を図るためのクラブ奉仕についてのレクチャーがあり、その中で強調されたことは、新規入会のロータリアンに対して、クラブは「入会すれば、それで終わり。ともすれば、差別や放置をしていないですか？」との投げかけがありました。

このことに対しリーダーから、新会員はそれぞれ優れた特性をもって入会して来られます。例会や卓話、スピーチ、歓迎会、入会式など様々な場でこの特性を発揮していただき、クラブの活性化に繋げるようにと説明がありました。

当クラブ奉仕委員会は、地区方針に沿って、工夫した例会運営や楽しい親睦活動を実践し、活気と魅力のあるクラブ奉仕を目指して努力したいと考えています。



■ 第2分科会 第2部 横山 真喜男君

第2分科会は、会長、幹事、会計の研修でしたが幹事は欠席者の代理で第6分科会へ、会計の神谷さんは財団委員会会計長としてのアシスタントリーダー・次期地区資金管理副委員長の立場で、参加者は横山ひとりでした。一人ですから何を言っても誰も分からないのですが真面目に報告します。と言うか真面目に書きます。

会員増強について

危機管理と個人情報の取り扱いについて

地区予算と地区資金について

次年度WFF(ワールドフードフェスタ)について

クラブの研修について

の五項目についてアシスタントリーダーより説明がございました。特に会員増強は年度末5千人を目指し頑張ってください、特に女性会員をお願いしますとの事。個人情報については、年間総合計画書や名簿作成時の留意事項の話がありました。

WFFは次年度パキスタンを支援するとの事で多くの参加者、来場を待っていますとの事。ちなみに10月27日28日です。 以上

■ 第3分科会 第1部 外山 勝美君

第3分科会第1部出席の外山勝美です。

講習内容 公共イメージ向上委員会の活動、各クラブへのお願いについて

1. マスコミ対応

マスコミの力をかりる。

各クラブの公益事業に関して、マスコミに情報提供し、ニュース配信していただく、各クラブには報道関係者と日頃からふれあいをお願いしたい。

2. My ROTARYの登録

公共イメージと認知度向上のため登録をお願いしたい。

平成30年3月31日現在登録者28%

3. ロータリーの友の熟読

ロータリーの友はロータリー地域雑誌です。ぜひ熟読願います。

横組については、国際ロータリー関係、縦組は各クラブのロータリアンの投稿記事が掲載されている。

各クラブはどんどん投稿していただきたい。



■ 第3分科会 第2部 石川 徳重君

テーマ 社会奉仕活動・環境保全活動・RCC活動について

次年度社会奉仕委員長として第2部 第3分科会に参加致しました。

次期地区社会奉仕委員長より「社会奉仕活動・環境保全活動・RCC活動について」というテーマで挨拶、委員会説明があり副委員長より社会奉仕・環境保全・RCCのプログラムで研修が行われました。

研修では愛知県防災局防災危機管理課作成の資料を用いて「地震から県民の生命・財産をまもる強靱な県土づくり」について説明がありました。

中でも重点的に取り組む事項と位置付けるアクション項目という内容は

- ① 住宅建築物の耐震化の促進
- ② 家具固定の促進
- ③ 浸水・津波避難対策の充実
- ④ 河川・海岸堤防等の耐震化等の推進
- ⑤ 土砂災害対策の推進

の項目がありこれらに対する社会奉仕事業を検討する提案もありました。



愛知県環境部自然環境課作成の資料を用いての説明では「あいち生物多様性戦略2020」と題する説明がありました。

地域への展開として県内9地域ごとに土地所有者、開発事業者、活動者のコラボレーションによる「生態系ネットワーク協議会」があると紹介がありました。

また、これらは継続的に活動することが重要であるとのことでした。

RCCにつきましては、当クラブ所属でもある内藤地区副委員長より各クラブでのRCCの試みの紹介がありました。

RCCは地域の人々をロータリークラブの奉仕活動の輪に巻き込んで共に行動することによりクラブ確固たる存在を地域住民にアピールする最良の方法となり次年度地区活動方針の「あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！」を実践する手段の一つであると感じました。

次年度社会奉仕担当ということで研修に参加させて頂き身近で地道な活動の継続性によって地域に貢献することは重要であることを教わりました。少しでもお手伝いできるように研鑽してまいります。

■ 第4分科会 第1部 内藤 教恵さん

米山記念奨学部門 テーマ;米山の輪を広げよう

□米山記念奨学会は皆さまからの寄付で事業を行っています

□民間外交として世界平和の種子を蒔く

留学生への支援は未来に向かって平和の架け橋をかける、尊い奉仕活動です。

□奨学生選考について、1次審査は書類審査、2次審査は面接を行い
応募者100余名から33名を選考した。

□世話クラブとカウンセラー制度について

奨学生一人ひとりに、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かなものになるよう配慮しています。

□世話クラブとカウンセラーの役割について

例会への招待と奨学金の支給

奨学生を毎月1回例会へ招待する。2018年5月から2019年3月まで

奨学生レポート・カウンセラーの所見を提出

皆さまのご協力を期待し、歓迎したいと思います。お願い致します。

■ 第4分科会 第2部 岩井 春次君

次年度 国際奉仕委員会 理事になります岩井です。先週行われました国際ローター地区研修、協議会の報告をさせていただきます。

ローター財団の補助金制度は、地区補助金(DDF)と国際財団活動資金(WF)から成り立って

いて、今回の安城ロータークラブでは地区補助金、比較的規模の小さい、短期的な支援活動を行う予定にしています。例としてインドネシアの子供たちに、使わなくなったランドセルを現地の支援団体の協力してもらい送り届ける事業計画です。予算の50%以下の補助がもらえます。

今回の研修では、グローバル補助金についての説明を受けました。グローバル補助金とは、先ほど述べた、地区補助金(DDF)と国際財団活動資金(WF)を合わせて、30000ドル以上、20000ドル以下100%の補助金を受け取ることができます。このお金は私達が集めたお金で、支援します。条件の一つとして、持続可能であり、補助金を使い切った後も活動計画をしなくてはなりません。その1例がポリオ撲滅運動で、医師と患者と政府が協力し、世界中の人々が寄りよい医療を利用できるよう支援するという、スケールの大きい事業があります。



■ 第5分科会 青少年奉仕部門 大見 宏君

第5分科会では、青少年奉仕委員会に関する研修が行われました。

冒頭、次期地区青少年奉仕委員会岡田雅隆委員長より地区青少年奉仕委員会の活動方針として「学友クロスプロモーションの実現」に関する説明がありました。「学友クロスプロモーション」とは、青少年奉仕委員会が担当する①インターアクト、②ローターアクト、③ライラ、④青少年交換留学における、各学友間の連携と交流を深める活動を実施することでクラブや地区活動の活性化や将来の会員増強につなげていこうとするものです。本年度はその一環として、6月に「青少年・学友交流フェスタ」の開催を予定しているとのことでした。この点、当クラブでは、既にインターアクトクラブのメンバーがライラに参加してきたという実績もありますが、これまで同じ青少年奉仕委員会の所管するプログラムでありながら、あまり相互連携が意識されてこなかったことからすると、たいへん面白い試みではないかと思いました。

続いて、次期地区インターアクト委員長、ローターアクト委員長、ライラ委員長、青少年交換委員長から、それぞれの活動方針の説明がありました。

当クラブにおいては、安城学園高等学校のインターアクトクラブを支援していますが、地区の方針としては、今後年度を越えた継続したネットワークづくりのためインターアクトクラブのOB・OG会の発足に取り組むことが報告されました。

また、ロータリークラブの役割、姿勢として、ロータリアンのインターアクトクラブ活動への積極的参加、インターアクターのロータリークラブ活動への参加奨励、相互間の情報共有化の必要性、合同奉仕プロジェクトの実施の有用性等が報告されました。幸い安城学園高校のインターアクトクラブ員は本年度39名ということであり、その活動もかなり積極的なものとなっています。本年度もこれまで以上に、インターアクトクラブの活動を理解し、その助言と協力を努めたいと思いました。

また、本年度ライラセミナーは、初めてホストクラブのない地区委員会のみによる開催となることが報告され、十年先を見据え次世代のリーダー育成のために多数の受講生の参加に協力して欲しい旨の報告がありました。以上



■ 第6分科会 杉山 淳一君

ロータリー財団委員会に参加してまいりました。ロータリー財団の役割を詳細に説明されました。

特に印象に残ったことは、ポリオ撲滅に対して、一人30ドルの寄付を必達する事でした。

長年続けた来たポリオ撲滅が終息する時期が近付いていることを強く強調されました。

また、財団補助金を申請する時の注意事項を詳細に説明を受け、安城RCも今年は補助金を申請

しましたので、間違いがないように勤めていきます。



■ 第7分科会 第1部 海野 広明君

クラブ会員増強委員会の役割は、会員増強と会員維持を図るとともに、会員の積極的参加を促すことです。ロータリーの重要な課題であり、会員一人ひとりの協力が求められます。

会員増強のアプローチは、クラブや地区が、地元地域のニーズと慣習、最近の傾向や変化を認識して、それに沿った行動計画を全会員すべての参加で決めていくことが大切です。

2018－2019年度 ロータリーの目標

「クラブのサポートと強化」に関する項目があります。

- 1 現会員を維持する
- 2 クラブの会員数を増やす
- 3 女性会員、40歳未満の会員、ロータリーに入会するローターアクターの数を増やす目標を立てています。

2760地区は、過去6,000人から4900人に減ってきており、5000人の会員を目標としています。

会員増強の為に行動すべき事とは。

1クラブの現状を評価することで、クラブの強みと改善点を客観的に見つめて、魅力的なクラブを作ること。

2地域社会との会話。地域へのイメージ戦略を行う。

ロータリーは何をする団体なのか、知らない方が多い現状です。

ネット環境、地域住民を交えた親睦、意見交換会等、情報発信を積極的に行う。

3クラブ会員相互のコミュニケーションを高める。

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム等の利用も検討する。

4クラブのビジョン実現戦略計画を全会員で決める

クラブの近い将来「こうありたいと望む姿」を思い描くことで、クラブの一員としての自覚が生まれ、自分たちでクラブを作りあげている実感がわき、入会したいと思われるクラブとなる。

今回、地区協議会に参加して、他クラブとの意見交換ができたことが良かったです。

他クラブの良さを知り、親睦を深めることで今の状態を広い視野で客観的に学ぶことも会員増強につながると感じました。

この学びを来季の会員増強委員会に活かしていこうと思います。



■ 第7分科会 第2部 辻 隆士君

テーマ:ロータリーの職業奉仕について

次期職業奉仕委員長として、第7分科会に参加しました。

はじめに職業奉仕とは

・ロータリーの原点 ・ロータリーの活動根幹 ・ロータリーの金看板

とありロータリー活動で重要なことではあるが、分かりにくいということで説明がありました。職業奉仕は自分の職業に対してではなく自分の職業を営むうえでと考える。

職業奉仕を考えるキーワードとしましては

- ・職業上の高い倫理基準＝高潔な精神で仕事に取り組む
- ・仕事の中に「世のため、人のため」という奉仕の心が必要

職業奉仕と倫理

- ・すべての職業の基礎に 奉仕の理念＝奉仕の心＝思いやりの心をもって事業の実践に際し、常にそれを併せ遂行する。

ロータリーの活動の目的は、自らの職業を通じての倫理運動である。

このことを踏まえてクラブ活動を遂行していきたいと思います。

